

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		集団療育については定員を設け、適切に保てるようにしています。活動内容に応じて、机や椅子などを移動させ、部屋を広く使えるように心掛けています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		質の高い療育の提供を目指し、基準を上回る体制を整えてトレーニングを実施しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		子どもの特性を踏まえ、時間や空間が分かりやすい構造化した環境づくりに努めています。教室のスケジュールを掲示し見通しを持てるようにしたり、教室のルールやおもちゃの片付ける場所を視覚的に示したりしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日職員で清掃をし、清潔な空間を保てるよう努めています。現在は療育が終わるごとに机や椅子、使った道具の消毒をしています。室内のレイアウトに関しても白を基調とし、活動に集中しやすい環境づくりを心がけています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		運営規定及び運営方針を念頭に、全職員が積極的に運営改善に関わり、保護者様の意見も取り入れ、PDCAサイクルにより、業務改善・品質向上に努めています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者アンケートを通して、保護者様の意向や満足度の把握に努めています。また、頂いた意見への返答と改善を行っています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ハッピーテラスのHPIにて公開しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在は第三者による外部評価は行っていません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		本部が実施する研修の他、月1回の事業所内研修の充実にも努めています。外部研修にも積極的に参加し、知識・技術の向上につなげています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		療育の振り返りをする中で子どもの発達段階や保護者様の意向について常に把握するように努めています。支援計画更新の際には、職員全体で共有し、子どもの課題や保護者様のニーズを分析するように努めています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		ハッピーテラスでは、明星大学准教授 竹内先生に監修を頂いたアセスメントツールなどを利用して、来所されている子どもたちの適応行動の状況を図っています。当事業所でもこれを参考にアセスメントを行っています。これにより支援経過の変化をわかりやすく示すことが出来るようになっていきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		児童発達支援計画は保護者様へのアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を職員全員で客観的に分析した上で、子どもが家庭や地域社会における生活を通じて、様々な体験を積み重ねられるよう考慮しています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		児童発達支援計画に内容を全職員に共有し、一貫性のある支援ができるよう努めています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		その日に利用する子どもの児童発達支援計画に基づく支援経過状況や課題等を考慮した上で、個別の担当や集団メインスタッフがプログラムを考案し、それをもとにチームで検討を行っています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		活動の中で経験が限られてしまうことがないよう、年齢や来所される子どもたちに合わせたプログラムの提供を行っています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		子どもの発達段階及び特性等並びに保護者様の意向等を踏まえ、個別活動と集団活動での取り組みを適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		療育前に職員全体で打ち合わせをしています。療育の目的や個別サポートなど、事前に確認してから療育を始めています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎回振り返りの時間を設け、その日の子どもの様子や目標の達成度について共有しています。その日の気づきを次の療育に活かせるよう努めています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		その日の療育の様子を支援日誌として記録しています。3か月に1度、個別支援計画を更新するタイミングで振り返りとしてまとめ、保護者様にお渡ししています。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		最低でも3か月1度個別支援計画を更新しており、その都度モニタリングを行っています。また3ヶ月経っていても必要性を判断した場合はモニタリングを実施し、個別支援計画の更新を行っています。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	サービス担当者会議が開催される際には、児童発達支援管理責任者が参加させていただいています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	サービス利用に至った段階から継続的な支援を行うため、母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援ができる体制整備が整うように取り組みを行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	現在対象となる児童がいないため、現状では連携を図っていません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	現在対象となる児童がいないため、現状では連携を図っていません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	園や保護者様からご要望があった時には、事業所と園でお互いの支援内容や様子について情報共有する機会を設けています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	ご要望があった利用者様には就学支援シート・支援内容情報提供書を作成しています。発達の状況や障害の特性、支援内容等の情報共有を図り、円滑に引き継がれるよう努めています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	通所している子どもに関しては、必要に応じて相談や訪問での情報共有を行っております。今後、研修への積極的な参加を含め、各専門機関との連携強化に努めていく方針です。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	全ての子どもが幼稚園に通っているため、療育の時間内に障害のない子どもと触れ合う時間は設けておりません。今後要望があれば検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	右京区で行われる児童部会などの会議に積極的に参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	毎回療育後に保護者様と振り返りを行っています。保護者様からも園やご家庭での様子をお伺いし、共通理解を持てるよう努めています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○	ペアレントトレーニングは行っていませんが、今後、要望があれば検討していきます。毎回、療育の最後に保護者様と振り返りをさせていただいており、その際に、子どもへの声掛けや関わりについての助言を行っています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	ご契約を頂いた際に、子どもや保護者様が児童発達支援を適切かつ円滑に利用できるよう、丁寧に説明をするよう努めています。疑問点があれば職員の方ですぐに対応できるようにしています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	3ヶ月に1度、モニタリングを実施し、保護者様の意向を聞き入れながら支援計画を作成しています。更新した計画内容を保護者様に説明し、同意頂き交付しています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	療育のフィードバックの時間だけでなく、療育前後の時間など、適時相談に応じるよう努めています。担当の職員だけでなく、子育て経験が豊富な職員など教室全体で助言や支援をしています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	トレーニングの時間や提供できる場所の問題もあり、保護者会は開催できていません。集団療育の後などは保護者様同士で楽しく会話をされていることも多くあり、そこに職員が加わってお話させていただくこともあります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	子どもや保護者が悩みや不安等を一人で抱え込まないように、子どもや保護者からの相談には適切に応じ、信頼関係を築くよう努めています。必要に応じて専門機関の紹介などもしています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	毎月お便りを発行し、その月にちなんだ情報を発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	職員等(ボランティアを含む。以下同じ。)であった者が、業務上知り得た秘密を漏らすことがないよう、誓約書の提出や雇用契約に明記するなどの措置を講じています。個人情報を含む書類については鍵付きキャビネットで保管し、パソコン上のデータについても教室外で閲覧できない設定になっています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	視覚的な情報を用意するなど、その都度必要に応じて行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	現在はコロナ禍ということもあり、イベントは利用者様のみ参加していただいています。今後状況が変わりましたら、地域の方にも参加していただけるような取り組みを検討していきます。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	各種マニュアルの作成の策定並びに研修・訓練を随時実施しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	消防署の方に来ていただき、職員の避難訓練を年に2回実施しています。また、子どもの避難訓練も療育中に行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	現在対象となる児童はいませんが、契約時に服薬やてんかん発作の有無について確認をしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	現在、食事提供はしていないため指示書はいただいておりません。アレルギーの有無等については契約時に全員確認しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ヒヤリハット報告書作成時には、即座に職員及び全社に共有を図っています。また年度ごとにまとめ・分析し、事例集として活用しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	年に2回「虐待防止委員会」を実施しています。虐待になりうる事例はないか、職員間で話し合いをする機会を設けています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	社内で組織的に決定をし、その旨を子どもや保護者に説明をし、個別支援計画に記載することとしています。